

市長と話し合う会 市民体育館

平成 26 年 10 月 26 日（日） 10 時 00 分～

1. 市政の活性化について
2. 市の財政について
3. 新茂原駅周辺の踏切の改良について
4. 新茂原駅前の営業時間について
5. 不審者対策について
6. 中高年齢者の健康維持・増進方策について
7. 各部におけるスローガンの作成について
8. コンパクトシティ構想のその後について
9. 東部台文化会館へプロジェクターの設置について
10. 市長と話し合う会の運営方法について
11. 行政をチェックする手法について
12. ゴミ袋の値下げについて
13. 東部台地区の下水道事業の再開について
14. 郷土愛を育むことについて

平成26年「市長と話し合う会」 市民体育館

平成26年10月26日

◆議事進行者

それでは、ただいまより始めさせていただきます。

会を始める前に、皆様方に何点かお願いがございます。

本日の質問をいただく順番でございますが、最初に事前に質問、ご要望を提出いただいている方にご指名をいたします。本日は3名の方が事前に質問を提出しております。その方々の質疑が終わりました後に、本日参加されている皆様方に質問をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

次に発言方法でございますが、発言なされる方は必ずお名前または団体名をおっしゃってください。また、お1人の質問時間につきましては、5分以内で2問までにまとめて発言をお願いいたします。また、できるだけ大勢の皆様方に質問をいただきたいと思っておりますので、簡潔をお願いいたします。

最後に、本日の市長と話し合う会は、11時50分ごろから市長に本日の総括を行っていただき、終了時間を12時を目安とさせていただきますので、よろしくご協力をお願いいたします。

重ねて申し上げます。質問要旨はできるだけ簡潔をお願いをしたいと思います。多くの方々のご意見をいただくため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、始めたいと思います。

まず最初に、事前にご質問、ご要望をいただいております方に発言をお願いいたします。

1番目は〇〇さん、よろしくをお願いいたします。

◆質問者1

簡潔にということなのですが、詳しく説明しないとわかっていただけない点もあるかと思っておりますので、時間の許す範囲で、もしオーバーしたらストップさせていただきたいと思っております。その場合にはまた別の機会に質問させていただきます。

それでは、まず質問する内容は、1つ、市政の活性化について、2番目としまして市の財政について。2点でございます。

市政の活性化についてでございます。まず、毎年申し上げておりますが、このような行政と市民との間の対話の場を設けていただいていることに感謝いたします。行政側から毎年この市長と話し合う会に加えて、市民ふれあいミーティング、また市長への手紙という制度もあり、行政と市民との意思疎通の場が少なくとも3つ設けられていて、市民の声を聞こうという姿勢が見られ、さらに市民に対して開かれた行政運営になっていると思っております。

これに対して市議会は、一度選挙で議員が決まった後は、4年の間このような市民との対話の場が一切設けられていません。一部の議員が、自分の後援会の会員に対して議会報告会を開くということにはございますが、議会全体として市民の意見を聞こうとする場は設けられていません。議会傍聴という機会がありますが、勤労者が参加できる時間帯ではなく、また市民が議会に対して意見を述べたり質問したりする機会もありません。議員は選挙によって選ばれているのであるから、一々市民に報告したり意見を求めたりする必要はないと考えておられるのであれば、傲慢な姿勢と考えてしまいます。

言うまでもなく、市政は市民、議会、行政の三者が協働によって成り立つものです。そこで提案があります。せっかくこのように市長さん以下、幹部の方々もそろって出席され、市民も参加するこの機会に、議会の議長、副議長をはじめ議員の方々を招待して、日ごろ市民が市政に対して抱いている意見や要望を直接聞いていただけたらと思います。そして、これがさらに発展して、今度は議会主催で議会報告会や市民との意見交換も行われるようになれば、市民の行政や議会に対する関心度も高まり、市政もより活性化するのではないかと思います。

この会に議会の方々を招待する案について検討していただきたく、この会の主催者である市長及び総務部あるいは秘書広報課の考えをお伺いします。第1点です。

まだ時間はございますでしょうか。あと2点目はどうでしょうか。この話が終わってからにしましょうか。

◆議事進行者

ただいまの質問で基本的に打ち切りにしていきます。よろしくお願ひします。

◆質問者 1

済みません。打ち切るとするのは5分たったということですか。

◆議事進行者

いや、その質問に対して打ち切ります。

◆質問者 1

わかりました。

◆総務部長

それでは、総務部の考え方を申し上げます。

こうしてやらせていただいておりますこの会は、市長が市民の皆さんの意見をお伺いするためにやらせていただいておりますので、そこに議員を招待するということは考えておりません。そういう今ご提案いただいたような意見がありましたことは、確実に議会のほ

うにお伝えしたいと思っております。

以上でございます。

◆質問者 1

結構です。ぜひ議会のほうに伝えていただきたいと思います。

じゃ、2点目よろしいですか。

◆議事進行者

はい。

◆質問者 1

市の財政についてです。現在、茂原市の最大の問題は、先ほどもお話がありましたが、過去の市政による土地開発公社に対する市の債務保証の結果つくられた莫大な負の遺産があると市長も議会も、そして多くの市民が共有している認識だと思えます。

土地開発公社に対する市の債務保証の結果、この返済のために市民が負担した総額借金の返済額及び元利合計は昨年度までに603億円、その後の返済額は30年間で160億円、合計763億円と聞いております。この763億円という額は茂原市の平成23年度の歳入約290億円の約3倍、また税収130億円の約6倍という莫大な金額です。これらは納税者1人当たり幾らになるのでしょうか。今後の人口減を考えると、1人当たりの負担はさらに増えるものと考えられます。

現在、行政が市民のために何か事業を行おうと思ってもできないのは、結局この債務保証問題により引き起こされた市の財源不足に帰結するのではないのでしょうか。この莫大な負担のために、本来市民が受けるべき行政サービスが大きく低下していると考えれば、この問題は当時の責任者がよかれと思ってやったことだから、仕方がないでは済まされない問題だと思えます。

政治や行政、議会には結果責任が伴います。この借金返済という問題がなかったら、どのような市民サービスができたのでしょうか。あるいはこのためにどのような市民サービスの低下を招いているのでしょうか。

昨年10月の市長と話し合う会の席上、土地開発公社に対する市の債務保証により市民に莫大な負担を強いたのだから、この問題について検証委員会を設けるべきではないかとの質問に対して市側からは、公認会計士、弁護士、専門知識を有する外部委員で構成する茂原市土地開発公社経営検討委員会を設けて検討した結果、解散を決定したので、この問題に関してはこれ以上深入りしたくないという発言がありましたが、この回答では市民の納得は得られないと思います。検討委員会のメンバーはどのような方々だったのでしょうか。それはどのように選出されたのでしょうか。市民も参画していたのかお聞きしたい。検討会の席上、広く市民の声も聞くべきだという話が出なかったのでしょうか。

さらに、この問題に関して、別の質問者からの意見に対して市長からは、検証委員会を立ち上げるかどうかはもう一度行政内でもみます。また、議会の方にも協力していただくように申し入れて、はっきりした形で皆様方に示せるようにしたいと思いますという回答がありました。本件について、その後、行政内でどのような検討が行われたか、議会への協力の要請経過について教えていただきたいと思えます。

次に、昨年の市長と話し合う会である退職した市の職員から、莫大な財政負担を抱える前に、市の財政会計部門の職員の一部から、このままいったら大変なことになると進言した者がいたが、その人は人事で異動させられてしまったという話を聞いたが、実際はどうだったのかという質問をしたのに対して市長からは、後ろに控えている部課長の人たちは二、三年で異動してしまうので、当時のことはわからないという回答がありましたが、それはおかしいのではないのでしょうか。財政会計部門の専門職員の中に問題意識を持った人が一人もいなかったというほど職員の意識が低かったとは考えられないんですが、当時の担当者に聞き取り調査をすべきではないのでしょうか。

次に、昨年11月12日の決算審査特別委員会で伊藤議員から、土地開発公社に関して検証が必要だと考えるが、その予定はあるかという質問が出されました。これに対して企画財政部次長から、公社を解散するに当たり専門家の意見をもらい、一定の検証は済んでいるという回答がありました。これに対して伊藤議員からは、さらに議会で考えを聞くなり、検証を要請するという意見が出されています。このような意見が出ることは、すなわち市民だけではなく、議員の中にもこの問題は決して解決済みではなく、検証が必要だという認識があるものと考えられます。

6年前の平成18年11月26日に市役所で開かれた、財政が苦しい中でどんなまちづくりを目指すかというシンポジウムで、パネリストの中の議員の1人からは、議会のチェック機能の甘さを自省するという発言がありました。そして、市民からは、茂原には住みたくない人がたくさんいるという厳しい意見も出ていたということが新聞に載っていました。これを見ても、議員の中にも、また市民の中にも問題意識を持っておられる方が大勢いるのではないのでしょうか。

検証委員会を設けて明らかにしていく疑問点としては、下記のとおりと考えます。

1、問題発生 of 経過や、市民負担があれほど莫大になる前に対処できなかったのはなぜか。2、複式簿記の会計を行ってれば、もっと早い時期に問題が明らかになり、対処できたのではないか。3、議会のチェック機能は正しく働いていたか。4、取得したそれぞれの土地の目的や価格は適正であったか。5、責任者、責任部署はどこなのか。職員の中に進言した者はいなかったのか。多くの市民は行政の説明に納得しているのか。その他でございます。

この問題に対して市長はなぜ消極的なのか。積極的にもっと広く市民の考えを聞く会を設けるべきではないのでしょうか。議員の方の意見もあり、また検証委員会を設けて、前述のような疑問点を明らかにする必要があると思えますが、市長のお考えをお聞かせください

い。

以上です。

◆企画財政部長

企画財政部でございます。大きくご質問は4点あったと思います。

まず初めに、返済がなかったらというご質問だったんですけども、土地開発公社の債務保証による返済が本市の財政を圧迫し、市民サービスに与えた影響は大きかったものと考えております。しかし、このような状況下においても、市民の皆様に対してできるだけサービスの低下を招かないよう諸施策を展開してまいりました。返済がなかったらどうだったということにつきましては、仮定の見解につきましてはこの場では差し控えさせていただきますと思います。

あと、検討委員会のメンバーですが、検討委員会につきましては、平成23年9月に茂原市土地開発公社経営検討委員会設置要綱により5名の方を委嘱させていただきました。メンバーにつきましては弁護士、公認会計士、司法書士、経済団体の代表、専門の大学教授といった専門知識を有する方々をお願いして、検討していただいたものでございます。

次に、検証委員会の立ち上げにつきましては、再度検討した結果、検討委員会では国策の大幅な方向転換、バブル経済の崩壊以降の急激な地価下落、それによる土地需要の変化や景気の低迷など社会経済情勢の変化を見通すことが困難であったなど、さまざまな意見が重ねられた経緯もあり、このような中で総体的な検証は行われたものと考えております。

また、検討会での内容は議会へも報告されております。そのため、議会に対しましては検証委員会の協力は求めておりません。ただし、その後、行政内部での検証作業として、各年度の借入償還額、借入残高、取引の多かった時期の用地取得費、売却費等の資料について整理いたしました。

ちょっと細くなるんですけど、これらの資料から平成2年度、平成3年度にかけての用地取得費が最も多く、主な事業といたしましては都市計画街路事業の代替地や駅前再開発事業の代替用地、西部地区開発事業、都市計画公園用地、高師・小林区画整理用地などであり、それに伴う借入額も多額となっておりました。地域の秩序ある整備と住民福祉の増進に寄与する目的を持って実施してきたものですが、市税を投じて返済する結果となり、市民サービスに与えた影響は大きかったものと考えております。

今後は市民の皆様と情報を共有していくという視点で、早い段階から情報を発信していきたいと考えております。さらにこの経緯を忘れることなく、財政健全化を基本に市民サービスの向上と将来を見据えた財政運営に努めていきたいと考えております。

なお、既にホームページで公表しております資料もございますが、今回新たに整理した資料につきましても、後日、ホームページに掲載したいと考えております。

あと、昨年の市長と話し合う会で、退職した職員の進言の話ですけども、これまでもその時々において、財政当局からは厳しい財政状況が続くとの進言はしております。昨年

も申し上げたんですけど、課長職であれば二、三年で定期的に人事異動をしております。

あと、いろいろな問題発生に対処できなかったかというご質問だったと思います。それで、公社の業務は本市が実施する街路事業、土地区画整理事業、住宅事業などを推進していく目的の上で、不動産鑑定価格をもとに必要となる土地の先行取得を行ってまいりました。また、公社が土地を取得するに当たりましては、議会の議決を必要としておりました。

昭和60年代は地価が高騰を続けており、事業実施における最大の難関である用地取得を早期に行うことは有効な手段であり、本市の事業を円滑に推進するため、大きな役割を担っておりました。

しかし、平成3年をピークとして地価は下落に転じ、公社を取り巻く経営環境は激変し、効果的に機能していた土地の先行取得は地価が下落することにより機能しなくなりました。そのため、地価の下落を防ぐため国においては、経済対策や景気対策の一環として公共事業の拡充等を全国的に打ち出しましたが、効果はなく、景気の低迷とともに土地の価格は下落が続き、本市の事業進捗もおくれ、公社が先行取得した土地は一向に買い戻しが進まず、いわゆる塩漬け状態が長年続く状況となりました。

こうした社会経済情勢の変化を見通すことが困難であったことから、結果的に多額の市税を投じて債務を返済する結果となり、市民サービスを低下させたことは否めなかったと考えております。また、公社の債務や解散に当たり、広報、ホームページ等で情報提供してまいりましたが、今後とも市政全般にわたりまして市民の皆様と情報を共有していくという視点で、早い段階から情報を発信していきたいと考えております。

最後に、この経緯を忘れることなく、財政健全化を基本に市民サービスの向上と、将来を見据えた財政運営に引き続き努めたいと考えております。

以上でございます。

◆議事進行者

ありがとうございました。

◆質問者 他

関連はいいですか。

◆議事進行者

時間になりますので、これで終わります。

◆再質問

1つだけちょっと。今の回答で私は満足できないんですよ、おそらく市民の方も。仕方がないんだと。結局は仕方がないんだという言い方じゃないですか。そうじゃなくて、例えば市民の声を検討委員会で聞いたのかとか、答えてないじゃないですか。なぜ聞かなか

ったのか。

それからもう一つ、職員の中で財政の職員の方が進言したにもかかわらず無視された、あるいは人事で異動させられてしまったという話を聞いているわけですよ。それでも調べようもしない。結局、この問題の根本はもっと深いところにあるんだと思います。それはそういう正論を吐く市の職員、この声がつぶされてしまう。あるいは言いにくい、言わせない、こういう組織的な欠陥があったんじゃないかということなんですよ。だから、検証委員会が必要だということなんです。まして伊藤議員だって言っているじゃないですか、やるべきだと。もう少し真剣に誠実に検討し、答えてもらいたい。今までの話は、責任者はだれもいない、だれも間違ったことはしてなかったんだ、国の政策だ、みんな人に責任をなすりつけているじゃないですか。これは継続してやってもらいたいですね。

☆市長

〇〇さんの言うのはよくわかりますけども、検証委員会を立ち上げることは検討したんです。

◆質問者 1

検討したんですか。

☆市長

検討しました。検討しましたが、今言った諸事情、国の施策、これの一番大きな問題は、皆さん方こうやってわかるのは夕張がああいう状況になって初めてわかってきたんです。私なんかもそれまであまり気がつかない。つまり盲点を夕張が表に出したわけでございます。したがって、そこからですよ、国がばたばた、こういうことを地方に全部調べさせて、あげく茂原はそれに乗っかっちゃって、何だかわけのわからないことをいっぱいやっていった。だから、そうおっしゃるのであれば、住民代表訴訟を起こしたらどうですか、前の市長とか当時の幹部の人たちに。

◆質問者 1

何で市民がやる前に、今の行政の責任でやらないんだ。

☆市長

だから、行政の責任者は、議会側の了解をとってこの事業は進めてきたはずなんです。

◆質問者 1

じゃ、何で伊藤議員から、検証委員会を設けるべきだと去年の決算特別委員会が出たんですか。

☆市長

だから、検証委員会の件はもんだはずなんですよ。設けようとしたんですが、結局、結果はこういう形になるんですよ、今答弁したような。

◆質問者 1

市長は昨年、議会に協力を要請して、検討委員会を設けるように検討しますとおっしゃられた。

☆市長

だから、何度も申し上げますけど、二元制でございます。行政側と議会とで、前の首長と前の議会でこの問題を処理したはずです。したがって、私は当時の執行者でも何でもありません。執行者の責任は前の執行者の責任なので、それを私に求めること自体がおかしいということです。

◆質問者 1

そうじゃないです。市長の責任を求めているんじゃないで。

◆議事進行者

質問者に申し上げます。次の方の質問もございまして、これで最後打ち切りますので、ご質問がございましたら、直接、後でまたよろしく願いいたします。

では、次の質問者に移りたいと思います。

〇〇さん、いらっしゃいますか。よろしく願いいたします。

◆質問者 2

新茂原自治会の〇〇といます。事前要望に基づきまして2問質問させていただきたいと思っております。

1問目につきましては、JR東日本に改善要望をお願いしたいということで2項目ございます。

1つにつきましては、新茂原駅周辺に踏切がございまして、川代付近と上林付近の2つがございまして、この踏切につきましては、道路付近よりも踏切幅が狭いということで、朝夕の通勤時、車が交差しますと、歩行者は線路内を歩いて横断しなきゃいけないという非常に厳しいというか、危険な状況にあります。この辺の改善をJR東日本に要望したいということで、平成20年度からこの機会を通じてお願いしておりましたので、引き続きお願いしたいと思います。

もう一つにつきましては新茂原駅の窓口の営業時間の延長ということで、平成24年1

0月1日から、始業時間は変わらないのですが、終わりの時間が夜8時5分から5時40分と非常に早い時間になってしまいまして、日の落ちるのが早いと既に真っ暗になって、防犯上も非常に危険だということが十分考えられます。そういった意味で、従前の時間に戻していただきたいということを要望していただきたいと思います。

また、今年のこの要望の中で、防犯カメラを2台構内に設置していただきました。非常にありがたいことだということで、会員の皆さん、市の皆様に感謝を申し上げたいと思います。事故が起これば犯人逮捕には大幅な解決の糸口になるかとは思いますが、以上の2点を要望していただきたい。このことにつきましては、明日11時から豊田地区自治会長連合会からも要望しております、本納駅も含めてですが、一足早く回答をいただきたい。

2点目でございます。不審者対策ということで、今年の9月から、2学期というんですか、夏休みが終わってから、自治会内にみずいろ公園という児童公園があるんですが、その辺の付近に不審者が出るということで豊田小学校の校長先生からも要望がありまして、自治会でパトロールしてくれないかということで、豊田地区の防犯組合の皆さんのご協力を得ながら、茂原市からも青パトを出してもらったり交番にも要請して、下校時にパトロールをしているわけですが、なかなかいい対応策が見当たらない。市のほうから助言をいただければと思いますけど、2問目の質問とさせていただきます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

☆企画財政部長

JRに対して毎年ご要望をいただいていることは重々認識しております。JR東日本に対しましては、千葉県と関係市町村で組織しております千葉県JR複線化等促進期成同盟により各市町村の要望を取りまとめ、私どもの職員も参加し、要望活動を行っております。

ご要望の川代踏切と上林踏切の拡幅改良につきましては、平成20年度より要望を続けており、本年度も9月にJR本社と千葉支社へ要望活動をしてまいりました。JR東日本としましては、設備投資が厳しい中で適宜実施の可否を判断せざるを得ない状況であることをご理解していただきたいとお答えがございました。また、検討できるものは検討しており、すぐ実現できるものは少ないものの、地域を活性化できるよう努力していきたいと考えているということでございました。こうしたことから、本市といたしましては本期成同盟を通じまして、公共交通機関であるJR東日本に対して、引き続き粘り強く要望活動を進めてまいりたいと考えております。

次に新茂原の窓口時間ですけど、JR東日本によりますと、駅の利用状況や経営的なことを総合的に判断し、平成24年度から新茂原駅を含む県内4カ所の駅において変更したということでございます。当駅は学生が多く利用する駅でもあり、防犯上の観点からも、以前のような午後8時ごろまでの職員配置を市としても望んでいるところでございます。本市といたしましては、本事案につきましても昨年度に引き続き、本年9月に期成同盟を通じて、窓口営業時間の復元をJR東日本本社及び千葉支社に要望したところでござい

す。

いずれにいたしましても、JRとしては利用客の減少が最大の要因でございますので、機会あるごとに皆様もJRを利用して、何とか食いとめていただきたいということでございます。

以上でございます。

◆議事進行者

よろしゅうございますか。

◆質問者 2

ありがとうございます。引き続き要望をお願いしたいと思います。

☆市民部長

市民部でございます。地域の防犯対策等につきましては大変お世話になっております。ありがとうございます。

不審者の対策につきましては市や警察の活動だけではなく、防犯組合、自主防犯組織の皆様による地域の活動によりまして犯罪の抑止につながっていると考えております。ご指摘の事案につきましては、当市といたしましても、現在、職員による青パトの巡回もあわせまして、警察と連携を図りまして不審者発生箇所のパトロールの強化を図っているところでございます。

そこで、多数の市民の目を地域に向けることで、犯罪の抑止につながるのではないかと考えておりますので、引き続き地域の皆様と力を合わせまして防犯パトロールの実施と、安全安心メールによる不審者情報の発信等の啓発活動もあわせまして、皆様と協力しながら進めてまいりたいと考えております。また、市といたしましても、これらの活動に加えまして、青パトの貸し出し、防犯ベスト、帽子、赤色誘導灯の貸与、またボランティア等の活動の後押しも続けてまいりますので、今後とも皆様とともに安全で安心なまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

以上です。

◆質問者 2

引き続きご支援をお願いいたします。

以上です。ありがとうございました。

◆議事進行者

では、続きまして、〇〇さん、いらっしゃいますか。

◆質問者3

高師の〇〇です。事前に出しました10月14日付の私の文書がありましたら、頭から8行目に企画財政課とあります。これは我々茂原市では企画財政課はありませんので、課を企画財政部に修正します。

最初に〇〇さんから、去年の市長と話し合う会で土地開発公社についていろいろ出ました。私は去年もいろいろ大騒ぎするくらい、これは問題だと言いました。ただ、私が、市長の手紙ということになるかわかりませんが、9月11日付で、土地開発公社にかかわるこういうものは私どもからすれば納得できない部分があるんです。

なぜかという、平成2年のころ全国の市は、一番大きい横浜市から人口5,000人くらいの市を含めても663市があったんです。私は全国のいろんな市を調べていますけど、こういう財政規模でこれほどの選択肢をした市はありません。ということは、これくらいの財政規模で市が土地開発公社に土地を手当てしなさい、買い取りを要請しますみたいな、そういう動いたところは私の十何年も調べている範疇ではありません。ということは、もう少し平成2年だとか、昭和の最後のころでもいいんですけども、このころに茂原市土地開発公社はこういうぐあいになるんだという、一番もとになるところが説明されてないんです。

さっき〇〇さんもいろいろ言いましたけども、こういうことをやったので平成26年度もこういう財務体質になっていて、私どもは高い行政サービスを受けられたんだろうなというのが、要するにこれから160億円も借金を返しています。土地開発公社の債務保証です。そうすると、ずばり言うと、これよりは逆さに戻りませんから、それはあれなんだけども、これがなければ相当私どもは高い行政サービスを受けられたと思う。これはしっかり認識してほしいんです。

それで、よく私は市役所へ行って色んなことを言っています。でも、職員に言ったら、そういう認識は相当欠落している人がいます。要するにこれは継続しているわけですね。平成2年のころの前市長のころに決めたものでも、これを引き続き、ずばり言うと、田中さんは就任して2期目のほうにあれですけども、その平成2年ごろ何が行われているということ、これはちゃんと検証してほしいですよ。それじゃないといつまでも、〇〇さんの言っていることが毎年続きますよ。去年もやっていたから。

これは以上です。今までの感想ね。

私、本当は茂原市土地開発公社を書きたかったんですけども、今年は2項目言って言われていますからね。2項目は何かというと、中高年齢者の健康維持増進方策についてというのでやっています。

今、国でも発表していますけども、健康年齢というのがあります。要するにひとり暮らしでも何でも自立して、どこか買い物へ行ったり、自立した生活ができますよというのを健康年齢といいます。健康年齢と最後にお亡くなりになる平均年齢、その中に大ざっぱに言うと健康年齢から平均年齢まで、男、女、いろいろあるんですけども、10年から12

年、人の世話などで死にかけているんですよ。だから、一般会計から国民健康保険だとか介護保険特別会計にもう少し支出してもらって、ここを頑張って健康年齢をできるだけ後ろのほうに延ばすように、要するに健康でずっと生きたいということを、市の関係するところ全部でそういう方策をやってほしいと。そして、健康年齢をできるだけ延ばして、そうすれば医療も介護も長い目で一生懸命頑張れば、相当改善されれば財政もよくなります。ですから、今、私が一般会計からの支出についてお願いしますと言っているのは、一遍頑張ってみて、ある程度のレベルにいったら、またもとに戻していいですよ。我らの茂原市は一般会計から特別会計への支出は非常に低いです。ですから、全国に千七百幾ら市区町村あります。その平均レベルぐらい一般会計から出してほしいと。これについてお願いします。

その次に、今、我らが市の市役所へ行けば各部があります。部がある目標の、今までもいい仕事はしてきたと思いますけども、今度はこういう新しい表題、項目でしっかり頑張りますよというものを約束してほしいんです。地方自治ですから、人のところをまねしなくてもいいんですけども、しっかり成果を上げているところがあります。ある部はこういうことで今年は頑張りますと。こういうスローガンで頑張れとやるんですよ。たしか部長が言っているんです。

なぜこういうことを掲げているかという、私、この2月、住民監査請求をしました。4月に監査の結果で、7月に勧告が出ました。地方自治法242条で、監査委員が市長宛てにこういうぐあいにやりなさいよということで、7月いっぱい解決しなさいよと。それで、何とかそれなりに解決しました。そういう意味でいうと、ここに部長級以上の皆さんがいますけど、この人はみんな責任者なんです。課題があつたら、何で1年も2年も3年も解決しないのというのがあるんですよ。だれかおれの責任でやるみたいな、そういう覚悟があるのかどうかなんです。ということは、ここで各部で目標を定めてやってくださいというのは、そういうことなんです。ずうっと議会でやっても解決できないなんて不思議なんです、私たちは。

以上です。

☆市民部長

市民部でございます。お世話になっております。

最初の中高齢者の健康維持増進方策についてということですが、おっしゃられたとおり、介護支援を受けることがなく長いこと健康な状態、健康寿命、健康年齢ということなんです。延ばしていくことは大切なことだと思っております。今後の健康増進上の大きな課題として捉えておりますし、各種の予防接種、成人者を対象とした各種の検診、健康教育、健康相談等、また将来の健康づくりにつながるための予防医療に取り組んでいます。あと当然、運動や栄養の健康増進ということもございますし、そういうところに取り組んでいるところでございます。また、健康につきましては、各自みずから自分の健康は自分

で守るということ等から、それに沿った実践をしていただくということで、啓発・啓蒙につきましてもぜひ取り組んでまいりたいと考えております。

国民健康保険事業への一般会計から繰り出しということになるんですが、国から一般会計の繰り出しにつきましては基本的な考えが示されております。この中で繰り出せるものとしたしましては、国民健康保険事業の事務費、出産一時金の3分の2、低所得者の方に対する国民健康保険税軽減分とされております。これ以外は、例えば赤字補てんのための政策的に国民健康保険税を軽減するため、一般会計歳入の市民税、固定資産税などを繰り出すことは適当でないと言われております。

本市の国保加入者の健康施策につきましては、特定健康診査は当然実施いたしておりますけれども、短期人間ドックの費用助成、またはり・きゅう・マッサージなどを受ける場合について費用助成などを行っているところでございます。あわせて、国保加入者の健康維持増進には努めてまいりたいということでございます。

介護保険につきましては、福祉担当者のほうからお答えをさせていただきます。

各課の連携ということになるんですが、これは当然のこととございまして、各課ばらばらにやっていたのではどうにもなりませんので、健康診査の実施、また長寿クラブ、市民カレッジ等いろいろ事業はございますけれども、連携して事務事業に努めているところでございますし、また社会福祉協議会でもサロン活動等も行っておりますが、そういうところとも連携しながら事業を進めているところでございます。

今後とも健康維持・増進施策につきましては、連携に努めながら事業の推進に当たっていきたくと考えておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

以上です。

◆質問者3

どこが中心にやっているの？役所というのは縦割りだから、どこかが中心にやって旗を振って、風を起こしてやるというのをしっかりしないと。今みたいに前向きに検討なんていうのは私らはあまり議会答弁じゃないんだからどこが主体性を持ってやるとか、どこの部がやるとか、こういうものがちゃんとしてなければ進まないんですよ。あるレベルになったら、そのレベルは絶対落とさないというぐあいに毎年毎年ハードルを上げて、市民のため頑張るといふぐらいのそういうものを具体的に展開しなければ。ただ、こういうふうにも頑張っていますよなんて言われたって、前向きにどう考えているの？

☆市民部長

当然、それぞれ健康管理、健康診査等をやらせてもらっていて、健康相談、健康教育というものを行っております。また、福祉での領域は、65歳以上の高齢者の関係の一次予防も実施されております。当然、社会福祉協議会でもサロン活動ということで実施されておりますので、それらはそれぞれの部署が持っている事業ということもございます。です

ので、それをほかの部署で実施するというわけにはいかないのです、当然その部署に対して連携をとりながら、市民部においては保健師等がおりますので、ほかの部署でも保健師等の一部おりますけれども、中心としておりますので、そういう者を派遣し、連携しながら健康教育、健康相談等を行っているという状況でございます。

◆質問者 3

どこが中心になって進めるというのがないと、並列になっちゃうんですよ。それは後でいいです。きょうはいいです。

☆企画財政部長

企画財政部でございます。年度ごとの各部における目標、課題に向けて事業を行うというご提案だと思います。全国的に見ますと、幾つかの市では年度ごとに各部の目標を掲げて、目標達成に向けた取り組みを進め、成果を評価し、その結果を市民の皆様へも公表しております。これは確実な目標の実現、組織のマネジメント力の向上、庁内の活性化などを目指す取り組みと考えております。

現在、本市においてはこうした取り組みは行っておりませんが、今後は他市の取り組み状況を調査・研究してまいりたいと思います。現在、私どもとしては、毎年、重要事項ということで課題を掲げて、ちょうどここにいるメンバーの中でそれぞれの部が今年はどういう課題に取り組んでいくということはやっております。

以上でございます。

◆質問者 3

それが私らには見えてないんだよね。市民が全然。それは中の話でしょ。

☆企画財政部

ですから、その辺、〇〇様のおっしゃるとおり、市民の方に見えるような形を今後検討していきたいと思います。よろしく願いいたします。

◆質問者 3

結構です。

◆議事進行者

これで質問を終わりたいと思います。

まことに恐れ入りますけれども、若干時間が過ぎておりますので、これで休憩時間に入ります。5分間の休憩時間に入りましてから後半のほうに移りたいと思いますので、よろしく願いをいたします。11時25分から再開をいたしますので、よろしく願いをいた

します。

(休 憩)

◆議事進行者

議事進行は、私、〇〇が進めさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、始めさせていただきます。再度申し上げますが、発言なさる方は挙手をしていただき、お名前または団体名をおっしゃってください。また、質問要旨はできるだけ簡潔にお願いします。

それでは、再開いたします。ご質問のある方はいらっしゃいますか。

◆質問者 4

〇〇と申します。市長さんにお伺いいたします。以前、コラムに掲載されましたコンパクトシティの構想についてですが、その後どのようなになっていますでしょうか。進展でしょうか、停滞でしょうか、中止でしょうか。お話しいただきたいと思います。

☆市長

コンパクトシティ構想は、ちょっと書かせていただきましたけど、あくまでもできるだけそうしたいという想いでおります。いまだにそういう想いではおります。ただ、物理的になかなか難しい諸問題がございまして、特に私のコンパクトシティの構想というのはできれば中心部に総合病院なら総合病院なるものを持ってきて、周りに居住区あるいは商業地域、動ける範囲内で、しかもできれば駅近と。このような話で書かせていただきました。

柏の葉ってご存じですかね。柏市なんですけど、これは三井不動産と何社かがジョイントしてモデル地区ということで、コンパクトシティあるいはスマートシティなるものを立ち上げてやってきております。そういうような国策である程度後ろ盾がないと、自前で非常にやりたくてもお金の問題もございまして、それから一番のネックは近隣の住民が同意してくれるかどうかということが、私も首長になって6年になりますけども、やっている上でそこが常にネックになってきておりますので、構想はおもしろいというか、やりたいという気持ちはありますが、要はそういう場所と協力してくれる住民と、もう一つは今言ったように後ろ盾、国が積極的に取りかかってくれる。もちろん県もそうなんですけど、そういうことが可能であれば、これはやっていきたいと思っています。

ただ、1つ例を挙げますと、商店街の活性化ってよく言いますが、駅前の商店街を何とか活性化しようと、行政は全くやってないわけじゃなくて、いろいろ働きかけをするんですが、そこにお住まいの皆様方、統計をとりますと全戸数、あれどれぐらいだったっけ、何百だったっけ、あの商店街は。つまり榎町からですね。それに協力しましょう、店を貸してもいいですよ。お店を使わせてくれませんかと言ってお願いに行くと、いいですよ

使ってくださいというのは2軒しかないです。そういうようなことがあって、交渉する上で難しいんですよ。こっちはこう思っても、向こうからはなかなか積極的に協力するような状況があらわれてこないとなると、中心市街地の活性化とはいってもなかなかうまくいかない。これは茂原だけじゃなくて、木更津もそうですし、東金なんかもそうでしょうし、旧の通りに面したところはいまだにそういうところがありまして、千葉県でもそうですし、全国的にもそうになっています。

だから、なかなか思ったとおりにいかないのが今の、これは1つの例として挙げましたが、農業政策も、私が県議をやっていた10年ぐらい前の話で、その時点で後の農業は5年だと言われたんです。農業委員をやっていたから、そのときに言われたのは5年。既に12年ぐらいたっていますから、5年過ぎて7年も経過しちゃっていて、今は盛んに中間管理機構とかは農業を何とかしなきゃということでやっていますが、あれもなかなか、多分いかないんですよ。

結局どういうことかという、農業をやりたいという人は全国結構、今、中高年の方たちが増えてきておりますので、あるいは法人化でやりたいというのが千葉県の場合でも2,800ヘクタールぐらい申し込みはあるんです。ところが、貸してもいいと管理機構に申し出が来たのがたったの10ヘクタールしかないです。2,800に対して10ヘクタールしかなければ、これは需要と供給のミスマッチじゃないけど、全く話にならない。

何でそういうことが起きるかという、やっぱり貸したくないんでしょうね。国はやれやれと言っている、借りる人もやりたい人もいっぱい出てきているんだけど、貸すほうに条件が合わないとか、どういうことなのかわからないけど、これもうまくいかない。最初からそんなのわかっている話。さっきも言ったように、国の一番悪いのは机上で話を進めてくることです。現場のことは全く知らないで何でもかんでもやってきて、今もそうですが、やってきているので、この辺は現場とは相当ずれが生じてきていると思っています。

さっき医療の話をしましたけど、これにしてもしかりで、矛盾しているんです。千葉県は620万か10万か、人口がいるわけですよ。千葉大1つですよ、医育大学は。今回の「市長が行く」で書きましたけど、いくら医者を10人、20人増やしたって、600万人に対して育てる医者の大学が1つしかなければ無理でしょう。しかも17年度の医療制度で大きく変わったわけですね。医者は選べる時代になっていますから、自分たちは好きなところへ行っちゃうわけです。自分たちは優秀だと思っていますし、自分たちの医療を磨きたいと思っていますから、何も千葉県に残る必要はないというので、ほとんどの医者はみんな県外へ出ちゃいます。千葉大がいくら偉いことを言ったって、医者がないんじゃない地域医療は守れない、こういう状況が、何年も前からこの話をしてはいるんですけど、一向にそこにメスを、何にもしてくれないというのが現状なので、さすがに頭に来て、この間県の部長にもちょっと大文句言いましたけど、もうできないんですよ、正直言いました。

ここだけのあれなんですけど、基幹病院の機能が非常に難しくなっています。2次の長生病院ですね。そういう状況になっているので、産科の話は先ほどしましたけど、産

科、小児科もひどいんですが、2次の基幹病院が機能しなくなるということは、医師会にもそういうおふれを出していますけども、どうするんだよと、あんたたちという話です。

この医者の問題も、5年も10年も前からこの話はあるって、彼らは自分たちの権益を守りたいから、今まではネグレクトといいますか、要するに拒絶していたところがあるんです。入れたくない、縄張りをとられたくないというのがあって、過去にはそういうこともあったみたいなんですけど、今はそんなこと言っていられません。何でかというとならばやっぱり高齢化なんです。医者もどんどん高齢化してきちゃっていますので、そういうこともあって、ここは一日も早く国が手をつけてくれないと千葉県はえらいことになると思っています。ならないかもしれません。

ならないというのは、1つは亀田がありますので亀田が手を伸ばして、あるいは旭があるので旭のほうから下に。でも、機能的に全然。亀田もそうなんです。亀田も正直言いまして医者はいるんですが、看護師がいないんですね。したがって、ワンフロア空いています、亀田も。看護大学をつくってやろうとしていますけど、これもかなり厳しいと思います。というのは、看護大学自体が不採算な状況なので、これを県、国がいくらやろうと思ってもなかなか手を挙げないというのが実情でございます。

コンパクトシティの話に戻しますが、やりたいと思っていますけど、そのときにはひとつ協力をよろしくお願ひしたいと思っていますけど、今の状況からするとやりたいという気持ちの方が先行していて、なかなかできないのが実情ですので、お許しを願ひたいと思います。頑張ってみますので、よろしくお願ひします。

◆質問者4

ありがとうございます。茂原市政だけは机上の空論のないようにぜひお願ひいたします。

☆市長

それは大丈夫です。いろんな話を聞いていますから。

◆質問者4

ありがとうございました。

◆議事進行者

よろしいでしょうか。

それでは、次の方、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

◆質問者5

緑町の〇〇と申します。私は茂原で映画をやっているんですけども、「アオギリにたくして」という映画を毎年やっているんですけども、東部台文化会館にぜひプロジェクターを

導入していただきたいということで、実行委員の一員としてやっているんですけども、アスモに映画館があったんですが、あれがなくなって二、三年になるんですけども、いい映画をみんなに見ていただきたいということで実行委員会を設けて、毎年毎年やっているんです。けども、今、映画も16ミリじゃなくて、DVDになってきているんです、大もとは。

ですから、これを映すのにプロジェクターが必要なので。先ほどは財政のことで大変苦勞されて、財政は減ってきたし、また基金も10倍以上積み増しだというお話がありましたけども、ぜひプロジェクターをあそこにつくっていただいて、有料でも、例えば10年とか15年という期間で償還できるように、そんな使用料でいいかと思うんですけども、安価でやれば、私たちも年1回ではなくて、年2回、3回映画をとというふうに思っているので、ぜひ導入をお願いしたい。これはどこの部門かわかりませんが、ひとつよろしくをお願いします。

☆市長

私も気がつかなくて、映画は私も好きだったので、アスモがなくなるというのは非常に悲しいことだと思っていました。何かうまい方法はないかなと思ってずっと考えていたんですが、プロジェクターってどのぐらいするんですか。金額がわからないんです。

◆質問者5

90万ちょっと。

☆市長

そうですね。要は財政は結構詰めてきて、基金も積んではあるんですが、そういう余裕がある状況がまだ見られないところもありますので、これは篤志家が結構いるんですよ、茂原市も。意外と寄付してもいいよとかということもありますので、ちょっと検討させてください。具体的なものがあれば、金出してもいいよという人は、僕のほうから言えば、多分協力してくれる方がいると思っておりますので、うまくいけばそれで対応させていただいて、市民の多くの方にいい映画を見ていただくように、それは〇〇さんのお力でやっていただければと思っておりますけども、これは約束できないんですけど、そういうことでちょっと対応を検討してまいりたい。これはもらって使う特定寄附でできますから、多分そういう方向で検討させていただくよう、これはいい提言だと思っています。考えさせてください。

◆質問者5

よろしくをお願いします。

◆議事進行者

よろしいでしょうか。
では、ご質問のある方。

◆質問者 6

本納の〇〇です。事務局にお願いと主催者側にお願いしたいのはこの市長と話し合う会の運営についてなんですが、私は毎年、本納でいろいろお話を聞いているんですが、それぞれのエリアでいろんな市民生活の中の安心・安全なまちづくりの中で、こうしてほしいな、ああしてほしいな、こんなことあったよという、我々が知らない世界がいっぱいあるんです。それらはどんな話があるのか。それらをここで話をしてお話を聞こうと。至って私は前向きな話を期待して来ているんですが、きょうは〇〇さん、〇〇さん、過去も非常に大事なんです。この話も私もよくわかります、理解しているつもりですが、ここはお互いが意見を言い合って、大声を出す場所じゃないです。ここはお互いに言うことを言って、理解をする。

ただし、そういう過去の、私は本納に住んで20年になるんです。ですから、自治会に関係してよく情報を得るようになったのは、約10年ほど前なんです。それまではこの市のそういう財政難なんて何も知りませんでした。でも、それはそれとして結構です、よくわかりますので、こういう具体的な過去の難しい話は事務局で話を受けて、ある部門できっちりそれは検証して、調べていくような体制をとって、この場ではほかの皆さんもいるので、もう少し前向きな話をできればなと思います。

かといって、それを素通りするわけじゃございませんので、それぞれの発言者の趣旨・趣意をよく理解していただいて、手抜きのないように。皆さんどうしても過去こうだったけど、どうなっているんだ、その進捗状況もわからないんだよ、教えてくれ、何やっているんですか、そういう部隊はあるんですかという具体的な指摘になっているんです。我々は市民としてそんな話を聞きに来てないんです。そんなこと聞きたくない。そういう細かい話しじゃなくて、役所の中でああでもない、こうでもないという、やった、やらない、そういうのは当事者の間でよく整理をされて、話し合いをしてください。じっくり、それこそ夜を徹してやってほしいんです。そして、理解していただいて、こういうことで話が決まりました。それを公表してください。

それで、当然これは議会も絡むことだと思うんです。ですから、その辺の関係プレーがどうなっているか知りませんが、我々一市民としてはこの市長と話し合う会は常に前向き、いわゆる安心・安全なまちづくり、これにいっぱいあります。子供たちの通学をどうするんだと、防犯をどうするんだと、不法投棄はどうするんだと、あつちは問題があるよという、いろんな市政の足を引っ張る、安心・安全なまちづくりには欠かせない問題がいっぱいあるんです。それらは皆さんから話を聞くと。そういう場であってほしいと思いますので、進行のやり方についてぜひご検討いただきたい。

私、本納でおそらく議事進行をやるようになろうかなと思うんですが、それはそれとして、皆さんの意見はよくわかります。それらはそういう場で、表に出てわいわいじゃなくて、もう少し前向きに、にこやかに楽しい話で、よし、みんなやろうじゃないかというふうに進めてほしいと思います。

以上です。

◆議事進行者

どうもありがとうございました。

進行係として示された時間も残りわずかとなりましたので、最後のご質問を受けたいと思います。どうぞ。

◆質問者 7

緑ヶ丘の〇〇といいます。質問というか、提言といいますか、私は以前は千葉市に住んでいまして、茂原市に引っ越してきて借金がいっぱいあるぞとか言われて、うわあ、しまったなとか、ただども家を建てちゃったので、茂原市で自治会活動とかをやりながら、あと商売もやっていますので、地域とか市のために何か貢献できることはないかなというので、微力ながらパトロールをやったりとかやっていますけども、先ほど市長の話とか〇〇さん、〇〇さんですか、そういうのは勉強になるなど。私の知らないことがいっぱいあって、過去そうだったのかと。

過去は過去、さっき〇〇さんが言いましたけども、例えば千葉市とか市原市は市民オンブズマンという組織がありまして、いろんな専門家が組織して、個人で議会とか市に言っても、私は自治会長で言うんですけど、相手にされませんから、〇〇さん、有志の方を、私、茂原市に市民オンブズマン組織があるってあんまり聞いたことないんですが、それがあるなしで過去のバブルのときに土地を買った云々とか、財政状況とか、市原市なんかは議員、市長の交際費を全部調べて、これは違法だからといって裁判を起こして、返還請求されていたりとか、そういうのが茂原市になかったのかなと。市に関してはとにかくバランスシートを見ると、稼いで無駄遣いをしないという、それは市の仕事だと思いますので、市はちゃんと収入を増やす努力と無駄遣いしない。それは議会がチェック機能を果たすんですが、以前の市政と議会は長い市長がいて、なれ合いでそれを通していたという、いろいろ聞きました。

ただ、それを市民が選挙とか、オンブズマンの市民組織がチェックしなきゃいけないのに、それがなかったのかなと。先ほど市長が住民訴訟を起こせばいいと言っていましたけど、多分起こしても負けます。なぜかという、バブルのあの状況はだれも見通せなかったからというので、裁判でそれは無理だという判決が出ていますので、過去のことで裁判を起こしても無駄です。だから、これから茂原市どうするのかという、そういう前途といえますか、組織するなり、〇〇さんが中心になるかわからないですけども、チェック機能

といたしますか、それは住民としてやること。

あとは選挙。そういう市長を選んだのも議員を選んだのも住民の責任だし、半分は住民の責任なんですよ。だから、その当時いた議員は今度の選挙で選ばない、その会派は選ばないとか、市長と議員は責任あると思いますよ。当時の何百億も、責任とっていませんから、それは住民としてやるとすれば、選挙とかいろんな意味でチェックするとか、こういう機会なので、我々住民としてもいい茂原市を、住みよい茂原市をつくりたいと思いますので、ここにいるメンバーだけでも一緒に力になってやっていければなと思います。

ですから、田中市長には収入を増やす努力をよろしくお願いします。企業を誘致してもらって雇用を増やして、やっぱり収入がないと何もできないんです。袖は振れないし、我々が言っても何もできないのはわかっていますので、ただ、我々はそういう役割を果たすと思いますか、そういうことを一住民の意見といたしますか、思った次第です。

以上です。(拍手)

◆議事進行者

貴重な意見どうもありがとうございました。

◆質問者 1

ただいまのお話、大変わかりやすくよかったですと思います。確かに市民にも責任があると思います。きょうも見てみると、ごらんのように非常に少ない。こういうことが問題の原因になっているんじゃないかと思います。

それから、先ほど言われた方で、後ろ向きの話じゃなくて前向きの話と言うんですけど、私は過去の大問題は歴史的検証をして反省しない限り、また起こる。真の前向きの話というのは、こういうものを明確に検証した上であり得るものだと思います。ということで、決して後ろ向きのお話をしているんじゃないということをご理解願いたいと思います。

◆議事進行者

わかりました。どうもありがとうございました。

では、先ほど挙手された方、最後の質問者となりますので、これで質問を打ち切ります。

◆質問者 8

済みません、お昼間際に。2分という限られた時間ですが、せっかく市長さんとお話しさせていただく機会を得ましたので、進行の方はもう少しお時間をとらせていただければと思います。済みません。よろしくお願いします。

◆議事進行者

どうぞ。

◆質問者 8

最初に、24年11月1日号の「市長が行く」についてちょっとお伺いしたいんですけども、この中でごみ袋の値下げについて市長は書かれました。この中で、市で検討した結果、財政上全く値下げは問題ないと。具体的に金額も40リットルは65円から50円と、値下げの金額も明記した上で市長はコラムを書かれています。あれから2年たちました。あの当時、私もこのコラムを読みまして、やっにごみ袋は下がるんだなと単純に思ったんですが、現在になっていない。2年経過した後もなっていない。

これからお話の中で、いつごろ幾ら下がるというお話があればありがたいんですが、広域組合の町、村との合意形成に現在も至っていないということであれば、今後、いくら協議しても実現は難しいと思います。

コラムの中でも市長さんは、市長就任以来、ごみ袋の値下げ問題はずうっと頭を悩ませている問題だと書かれています。広域組合の方がいらっしゃる前で申しわけないんですが、広域組合が実現の足かせになっちゃっているという状況です。それを含めましてご提案なんですけども、例えば財源探しの課題はあるでしょうが、市内の各世帯に購入割引券を配布して、その利用実績で割引額相当額を市から広域組合に支出して、市独自に実質値下げを行うなどの検討はできないものでしょうか。市長さんみずから筆をとられたことですので、担当部から随時報告はいつていることかと思しますので、市長さんみずからお話を承られればと思います。よろしく願いいたします。

☆市長

ありがとうございます。24年11月1日号でごみ袋値下げについて書いたわけですが、広域の管理者会議——管理者会議というと首長がみんな集うんですけど、そこでもんで、それから広域の議会で最終的にどうするかと。茂原市は下げる方向で検討に入っているけども、どうですかという話をさせていただきました。その時点では反対されまして、今の時点では無理だということが結論でございます。

広域の構成上、茂原市から首長1人、議員が6人、町村は議員が2人ずつ12人出てくるわけです。つまり12人。12にそれぞれの町村長を足して18、18対7。かなわないですよ。表決ですから、賛否をとった場合には負けちゃうわけです。したがって、茂原市としては下げてもいいかなと思っていたんですが、これ下げられないとなるとどういうことが起きるかという、これは過去にもあったんですが、茂原がただだったので、茂原でごみ袋を買って、入れたやつを茂原に持ってきちゃうと。わかります？周りの町村の人たちは。そうすると、茂原市のごみが、わけわからないのがいっぱい集積所にたまっちゃって、大きな問題になるようなことも考えられますので、これはとにかく合わせていきたいという話を再三やっております。

下がってはいないんですが、今回、消費税の関係でそのままにしたんです。本来であれ

ば60円のを、5%から8%に3%消費税が上がったので、その分転嫁されるんですが、その分を内税にしたので、抑えさせたという経緯があります。実質、だから下がってはいるんです。目には見えてないんですけど。

これは何とか了解しろということで首長の了解をとった、議会の了解もとったんですが、今言ったように、大きな話をすると合併もそうなんですが、ごみの問題もそう、いろんな問題があります、言えないような。今も進行中ですがちやがちややっている問題があるんですけど、そういう問題もやっぱり難しいですね。茂原市単独でやりたいと思っても、広域行政ですので、今言ったように了解をとらないとできない、こういうようなところが今幾つか起きています。

茂原市の大きな問題、土地開発公社とか、給食公社とか、ひめはるの問題、長生病院の黒字化とか、茂原市にとっての大きな問題というのは、過去、僕なんかが見ていておかしいなと思うようなやつは結構処理してきたつもりでおりますが、広域の問題は今言ったように茂原市単独でできない。おかしいなと思うのがいっぱいあるんですけど、茂原市単独ではできない。表決、今言ったように18対7ですので、かなうわけないですよ。上程しても何しても、議会があつて、そこで否決されちゃえばそんなの全然だめなので、それはやっぱり非常にやりづらいですね、本当に。だから頭を痛めています。

そこにちょっとメスを入れ始めてはきていますが、果たしてそれもうまくいくかどうか。本当に孤軍奮闘してもなかなかうまく開けないというのが今の歯がゆさでございますので、できるだけこれはやりたいと思っておりますけども、本当は60円なんてゼロにしたいんです、50じゃなくて。ただにしちやってもいいかなという思いではいるんですが、そこがなかなか難しいのをご理解していただきたいと思います。

◆議事進行者

それでは、最後の質問者として。

☆市長

割引券についてはちょっと検討させてください。

◆質問者8

今、市長からそういうご発言がありました。割引券を購入すれば、例えば配布枚数も家庭ごみの排出目標数値分だけにすれば、市民の方は足りない分は高い金額を出してごみ袋を買うようになるので、そういう家庭ごみの排出量も市民の意識づけになるし、またごみ袋の販売店も市内に限定すれば、特に市境の方とかが町とか村のスーパーで買っていたのが市内で買うようになるので、商業振興の意味もあるんじゃないかと思えます。だから、市独自というのもぜひ検討していただきたいと思えます。

次に2件目なんですけど、市長さんが再三言われたように、財政状況もかなり改善され

ていることでご苦労されていると。ただ、今後、市長さんも言われました人口減少社会では当然減収、下がってきて、相変わらず茂原市の財政状況が厳しいのは変わらないと。

そういう中で、先ほど言われました選択と集中、最小の経費で最大の効果をもたらすということで、事業の配分等を考えていらっしゃると思うんですが、そこで平成25年度から東部台で事業を再開された下水道事業なんですけど、これは茂原市全国一高い受益者負担金と言われて、平米当たり1,460円。大網とか東金は550円と。住民にそれだけ金銭的に過大な負担を強いて、また再開になったわけなんですけども、当面の状況は造成から40年も経過していて、既に住宅が張りついちちゃっています。それぞれの住宅はそれぞれ合併浄化槽を設けて下水処理はしていて、今さら——今さらという言い方はあれですが、公共下水道の住民ニーズはないです。また、高齢者世帯が年々増加している状況です。

そのような中で、まだ茂原市財政健全化を行っていかねばならない時期に全国一高い受益者負担金を徴収しても、それだけで事業費が賄えるわけではないので、貴重な多額の財源が投入されることとなります。東部台の現状はそういう状況ですから、仮に下水道を引いても人口流入なんか望めませんし、市のメリットとしては土地の評価が上がって、固定資産税が増えるかなと。そのぐらいじゃないかと思います。

そういう中で、財源に余裕があるのであれば社会資本整備は結構なんですけども、今の状況からもっとほかに投入すべきところ、社会資本整備、学校の耐震化とかは当然必要ですし、橋梁化とか、そういうのは必要でしょうけども、今さら下水道事業を再開する意義がどこにあるのかなと思います。また、その事業再開によって財政が悪化してしまうんじゃないかと懸念しています。事業再開して、事業進捗率を少しでも上げないと、過去の工期分を返還しなければいけないとか、そういう事情があるんでしょうか。市長さんが下水道事業の再開という大きな決断をされた、どういうメリットが市にとってあるのかお聞かせいただければと思います。

☆都市建設部長

都市建設部でございます。下水道の関係でございますけども、今、ご質問の中にもございましたけども、財政的な問題もございまして、平成20年度から24年度まで5年間中止をさせていただきました。東部台地区も途中まで行いまして、中止の状態になっておりました関係で、もともと20年の前から事業を実施して、引き続きやるという状況の中でいろいろアンケートとかもとらせていただいた中で事業を実施させていただいて途中で、5年間中止してしまったという状況がございました。

そのときも下水道を実施してもらいたいという話も多かったものですから、財政状況等を見ながら、5年間のうちに財政状況もかなり好転化しまして、検討しながら、引き続き実施を始めたという状況になっております。

今、下水道事業をやる意義があるのかということでございますけども、東部台地区のように人口が密集しているところにつきましては、公共下水道をやってよいということで、

考えてもいいのかなということで始めさせていただいたのが理由です。

◆議事進行者

よろしいでしょうか。

それでは、最後の質問者の人、先ほど手を挙げられた方。

◆質問者 9

郷土愛ということがありますが、市長さんをはじめ幹部の皆さんも、茂原市に郷土愛を持っておられると思います。ちなみに愛着度ランキング、これは民間団体ですけども、ブランド総合研究所で調べた郷土愛、それが千葉県は42位なんです。おそらく茂原市も多かれ少なかれこの辺の位置にあるんだと思うんですが、ちなみに47位が埼玉県、1位は沖縄県、2位は北海道、こういうことになっていきます。

今回、茂原に工業団地が出来ます。これは市長さんの本当にヒットだと思います。これからは郷土の意識を上げていかなきゃいけないんですが、1つだけ次代を担う子供たちに茂原市は郷土愛を育むような、こういうことをしていますよというものがあれば言うていただきたいと思います。それだけです。

☆教育長

ありがとうございます。そのとおりだと思います。

それで、今、子供たちの教育の中で郷土愛はどうなっているかということになりますと、まず一に小学校3年生の社会科、それが茂原市の勉強になります。2年生は自分の家の周りですから、自分の通学路とか、そういうところにお店があるとか神社があるとか、そういう勉強をしています。3年生になると、市の中に役所はどこか消防署はどこ、そういう勉強をしております。あと、おっしゃるとおり、郷土愛が少ないなということは、全国学力学習状況調査というのがあって、あれは算数と国語、数学の勉強だけでなく、学習状況、環境も調べているんですけど、その中に地域の行事に参加するかどうかという項目がありますが、それが茂原の場合には特に低いです。ですから、おっしゃるとおりだと思います。

そこで、茂原市では茂原学ということを提唱しまして、茂原の文化財でもいいし、工場でもいいし、産業でもいいし、そういうものを一覧表にして各学校に配りまして、そして年間最低1回は茂原の学習をするようにということをしておりまして、そのパンフレットも学校に配っております。その講師は市の職員がやったり、あるいは必要な出先機関に、そういうこともやっております。そのように今取りかかっているところでございます。

それから、あと「いつも憧憬」という曲が朝8時に防災無線で流れていまして、あれは茂原の愛唱歌ということで最近つくったわけですけど、それを子供たちに普及させたいという話もございまして、そして中学校の合唱コンクールで今年初めて、おととい茂原中学

校で全校の前で歌って、大変好評でございました。この辺も普及していきたいと考えております。

おっしゃることをよく胸に刻んで努力してまいりたいと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

◆議事進行者

以上で質問を閉めさせていただきます。

それでは、本日の総括を市長からお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

☆市長

長時間にわたりましてありがとうございます。またいろいろとご指摘、ご忠告を受けましたので、できるだけ前向きに捉えて対応してまいりたいと思っております。

土地開発公社の問題はいろいろなことありますが、一番冒頭で、私、話させてもらいましたけど、議会側と行政側と分かれておりまして、議員、首長は選挙で選ばれております。これは皆様方が選んだわけでごさいます、その議員の方たちが行政側のやることをチェックするわけでごさいます。したがって、公社の問題だけではございせんが、何か気になる点があるのであれば、あなたたち皆さん、住民が選んだ議員の方たちにその問題点をできるだけ指摘していただいて、議会で正々堂々と発表していただくという対応が、まず一番の最大の今の行政上の組織上の取り組みとしては回答できる方法ではないかなと思っております。

ただ、先ほど言ったように、住民代表訴訟って私は言いましたけども、間違いなく負けると思います。それは、だから皆様、住民の方たちの意思表示なので、ただ、それをやれば、やっただけのことは多分あらわれてくると思います。というのは、知らない方はいっぱいいますので、問題提起をするということは非常に大事なのかなという思いはあります。ですが、今言ったように負けるということが前提ですので、果たしてそこにそんなお金を使ってどうなのかなというのもちよっとありますので、私のほうからあえて言いませんが、一番いいのは議員にお願いをして、正々堂々と議会で質問していただければ、行政側も答弁をきちっとした形で出しますので、それで判断をしていただきたいと思います。

それから、コンパクトシティもありがとうございます。今後もいろいろと検討していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

あと、ごみ袋の件はできるだけ考えさせていただきたいと。

それと、東部台の下水道事業なんですけど、下水道事業がおくれた大きな理由は財政健全化でございまして、それぐらい茂原市はひどかったんです。18年の時点で850、900億弱ぐらい借金があったはずなんです。800強か、あったはずなんです。そのような状況で、下水道、えっという話がどこかしら出てくるわけです。それで多分、5年間凍結したんじゃないかと。ただし、下水道を普及するかしないかというのは外から、例えば沢

井製薬さんは関東工場をつくりましたが、茂原市は下水が普及してないねと。関東工場まで下水を引っ張ってくれないかという話が、すぐ当事者の幹部から持ち上げられます。ですが、それをやるだけでも数億かかるわけです。

それをやることによってメリットはどのような話なんですか、沢井さんにとっては非常にいいんです。その近隣の地区の住民にとっても多分いいかもしれませんが、負担が先ほど日本一高いと言いましたけど、非常に高い、高コストな下水処理になってしまますので、これも足を引っ張るかなと思っています。

これを判断した大きな理由は、多分住民の方たちからの要請が強かったんじゃないかなと私は思っております。それを無視してとめるということも一つの案なんですけど、ただ、今も言ったように、下水道事業一つとっても住民サービスということを考えたときに、途中までやっていて、何でとめたのかという意見も相当あるわけです。したがって、その辺の整合性をとるためにはせざるを得ないところも出てきちゃうということです。

本当に矛盾するようですけど、前にも何か書きましたけど、駅前の再開発、都市開発をやっていますけども、毎年1億円ずつ使っていてもあと100年以上かかる膨大な事業なんです。何だ、そんなのやめちゃえばいいじゃないかと言うんですが、やめると国にお金を戻さざるを得ない。こういう法律がありまして、途中で投げることもできないということでございます。悪法も法なりと言いますが、法律は法律なので、この法律を変えてくれないと、さんざん内部でもやっているんですが、これは無駄だろうと言ってもやらざるを得ないところがあるということも、一部においてはご理解をしていただきたいと思っています。

それから、新茂原の件はJRの民間企業の経営の判断に委ねるところがあるんですが、これは継続は力なので、やっていったほうが良いとずうっと思っております。それをやることによってJR側も頭の中に常に入っておりますので、いつの時点かやっていただけることにつながってくると思っています。

それと、無人化ですね。これは今、JRは圏央道を非常に意識し出しておりまして、アクアラインがつながって圏央道が茂原まで来まして、東金まで行きましたということで、前にも話したかもしれませんが、木更津で特急がほとんどなくなっちゃっているんですね。内房線の特急はほとんどつぶしてきています。なぜかという、採算性が合わないからです。

これはどういうことが起きているかという、前にも話しましたが、木更津から大体200便強の高速バスが出ています。それから、袖ヶ浦から400便。400便は、よく言うんですが、山手線と一緒になんです。5分に1本ぐらいの割合で東京、羽田、新宿、横浜、各方面に大体ドアツードアで1時間弱、45分ぐらいで行っちゃうということで、JRはそれによってどういうことが起きたかという、4万人乗っていたお客が一举に2万人に減っちゃったんです、1年間で。

それはやっぱり民間ですので、採算ベースからいうと合わないというので特急の便を減

らし、ローカル時間帯を若干そのまま維持はしておりますが、これが外房線にも少し出てきていますよね。ご存じかどうかわかりませんが、11時台の特急がなくなっているはずなんです。それともう一つ、4時がなくなってきちゃっています。これ、やめてくれと言ったんですが、JRの企業内部での話し合いで、これは経営上どうしてもそうせざるを得ないということなので、この辺はしようがないです。ただ、茂原からの高速バス便があまりにも貧弱なので、ここをどうするかというのが、今、私どもが受けている大きな宿題だと思っています。

1つは、木更津と今、袖ヶ浦が一つの集積所になっていますから、そこまでのここから行くバス便を増やしたほうが利便性は上がるかなということも考えておまして、民間事業者でどこかそういう事業をやるところが出てきやすいかなと思って、今探しているところです。そこまで行けば東京とあまり変わらないんですよ。こっちからJRを使って行くのと。新宿まで行くのにはむしろこっちのほうが早いかもしれません。だから、そういうようなことでもやっていかないと対抗要件が、JRが減らされた分、高速バスの利便性をもうちょっと上げるということからすると、まだ茂原は弱いのかなという気がしていますので、ここは今いろいろと手を考えているところであります。

それから、あと郷土愛については、「いつも憧憬」を昨年、白鳥英美子さんのご主人に作曲してもらって、今、朝8時に流させていただいておりますが、これもどんどん広げて、茂原市内でみんな郷土愛につながるような愛唱歌にさせていただきようをお願いしているところであります。

それと、郷土愛のランクが千葉県42位という話なんですけど、住みづらいと、こんなところ住んでいられないという手紙を若い人からもこの間いただきましたけど、それをあえて私のほうから、何が何でも茂原に住んでくださいということまでは言えないので、これは申しわけないとしか言いようがないんですが、ただ、逆に言うと、茂原市に住みたいという人もいます。茂原市は最高だと。最高まで言うかどうかわかりませんが、住みやすくいいところだという方は結構いると思います。

つい直近の話ですと、皆さん方もマスコミで見たかもしれませんが、吉永小百合さんが主演した映画が今公開になっておりますけど、あれの監督をやっている成島さんは茂原に住んでおります。彼に今、ちょっと協力してもらって、またまちおこしに何とか手助けしてもらえないかという裏での作業もやっているんですが、意外と、朝起きて鳥の声が聞こえて、風がそよそよと舞って住みやすいということで、茂原について書いてくれていますが、そういう方もいるんですね、実際に。

だから、一概に茂原は住みづらいつか、物価が高いとか、そういうことはないと思っています。天然ガスは日本一安いはずですよ。これもそうですし、温暖ですし、雪はほとんど降りませんし、ですから福島からこちらに避難してきた方たちは戻りたくないと言っているぐらいですので、そういったこともありますので、理解をしていただければと思っています。

それから、〇〇さんに言われたんですけど、職員の取り組みの目標設定、この目標設定というのは事業所内ではやっているんです、事業評価も。ただ、それが見えるようにしてくれというのは確かにご指摘を受けたので、見えるような形でやるように仕向けていきたいと思っておりますが、行政の最大の問題は、僕は前にもどこかで書いて、あるいは言ったりしたんですが、だらだらしちゃう。先ほど言ったように2年か3年で任期がころころ変わって、責任逃れで行っちゃうケースが結構多いんです。今までそれがきちゃったので、さっき言ったような土地開発公社の問題とか、給食公社もそうですし、それから長生病院が40年間ずっと赤字で来たというのもおかしな話なんですけど、そのようなのをしようとしなかった。

それは何でかという、やっぱりトップなんですよ。最終責任おれがとると言ったらやるんです。給食公社はまさにそれなんです。それも目標設定するんです。1年なら1年後に処理するとやれば、仮に1年でできなくとも近いうちには、犠牲者は伴いますよ、こう言っていますけども、何人か犠牲になりまして病気になった。私もそうなんですけど、病気になるような人も当然出てくるわけです。それぐらい熾烈です。それぐらいだれもやりたくないようなことをやるわけですから、それはわかりませんよ、私はそういうつもりでやっていますが、ほかの為政者はそうじゃないかもしれないので、だからできるだけ問題点はやっちゃおうと思っております。

そういうことが行政組織上、過去においては、どこでも多分そんな形で来たのかなと思っていまして、それをしっかりやっていたところは今は健全財政で、あるいは浦安みたいに特殊な施設があるから税収が入ってくるとか、成田空港があるから税収が入ってくるとか、こんなのは別で、それ以外のところはみんなそういうふうな厳しいことをやってきて、健全で来ているのも当然あると思っておりますので、今後もそうしていかないといけないと思っております。

ずるずるいっちゃうケースが非常に強いです。だって嫌ですよ。さっきも言ったけど、後々、訴訟になって責められたら、みんな自分の責任になっちゃいますから、そこは逃げたいんです、みんな。だから、おくれていっちゃったというのが過去の、私が個人的に検証した結果、そうじゃないかなという感じで捉えています。ただ、そうも言えないので、これからはきちつきちつとやっていかざるを得ないということを行政マンには指示を出しています。

そんなところで、ちょっと長くなりましたけど、きょうはありがとうございました。あと2回ありますけども、よろしく願い申し上げます。

きょうはありがとうございました。

◆議事進行者

ありがとうございました。

それでは、事務局から皆さんにご報告することがあればお願いします。

☆事務局

皆様お疲れさまでした。本日、前もっていただきましたご意見、ご要望につきまして本日ご回答できなかった分につきましては、後日文書をもってご回答させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。また、本日ご意見をされなかった方につきましては、市長への手紙が本会場の出口、あるいは公共施設に置いてございますので、ぜひご利用いただきたいと思います。また、電子メールでも受け付けてございます。それも利用してお寄せいただければと思います。よろしくお願いいたします。

以上です。

◆議事進行者

皆様のご協力により滞りなく議事進行ができましたことに感謝申し上げます。

以上で議事進行役を終わらせていただきます。(拍手)

☆事務局

ありがとうございました。

以上をもちまして市長と話し合う会を終了させていただきます。本日はお疲れさまでした。

— 了 —